

## 第2章

# 越谷市の子育て環境の現状



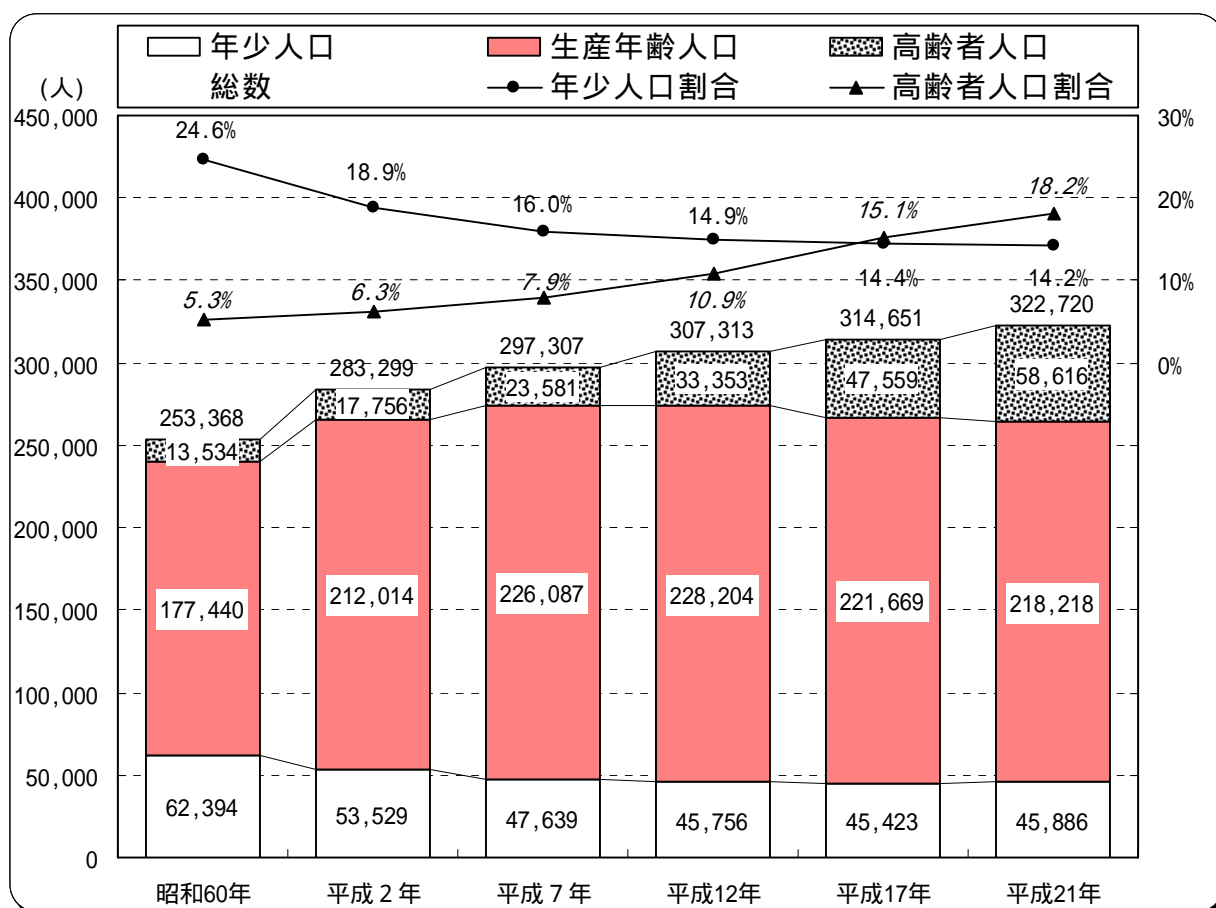
# 1 人口

## (1)人口推移

本市の人口推移を国勢調査(昭和60年～平成17年)及び埼玉県町(丁)字別人口調査人口(平成21年1月1日現在)のデータからみると、総人口では増加傾向が続いていることがわかります。

一方、年少人口(15歳未満)割合は減少傾向、高齢者人口(65歳以上)割合は増加傾向にあり、平成17年の時点では両者が逆転しており、少子高齢化の進行が表れています。

図表 2-1 人口推移

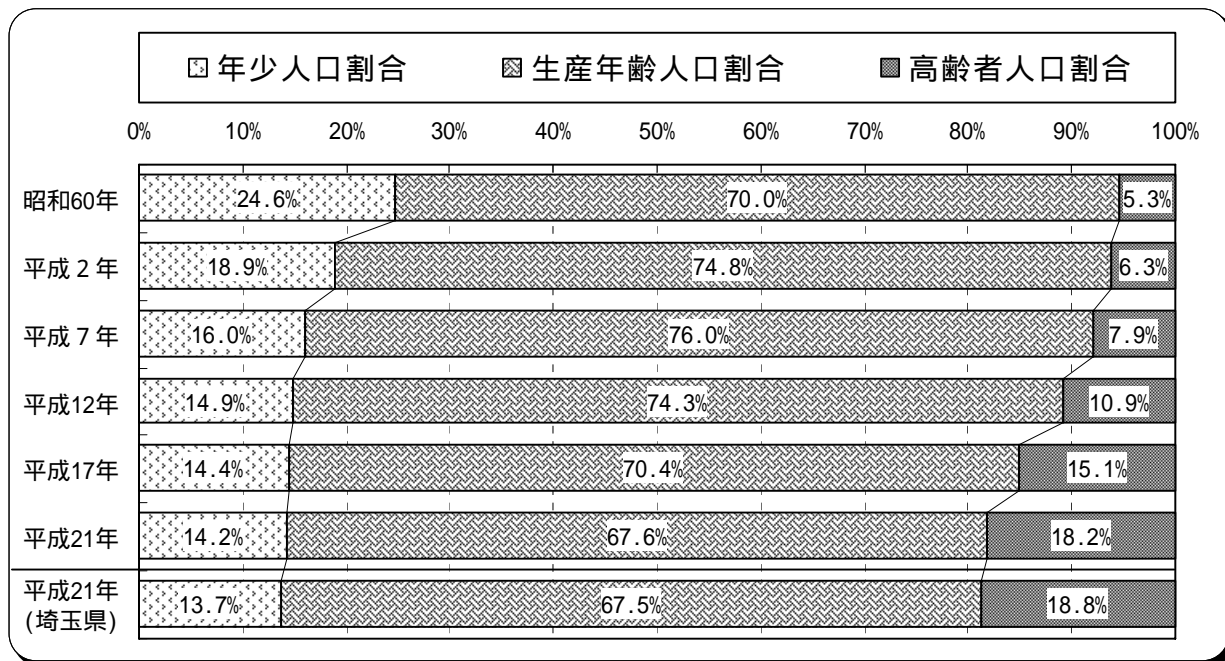


資料:平成17年まで国勢調査、平成21年は埼玉県町(丁)字別人口調査(1月1日現在、年齢不詳除く)

平成21年の人口データは平成17年までとは資料もとが異なるため、他年との数値比較は参考程度にとどめてください。

一方、平成21年での年齢三区分別人口割合と比較すると、ほぼ県平均と同程度の少子高齢化の進行となっていることがわかります。

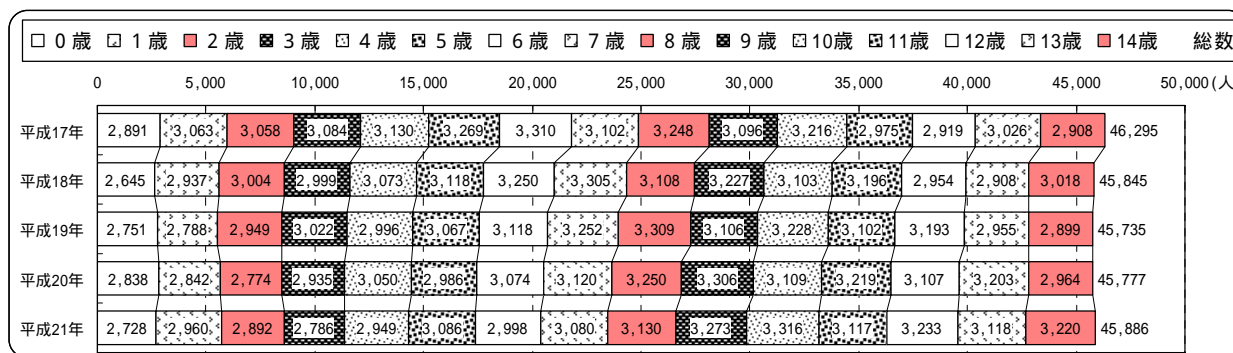
図表 2-2 年齢三区分別人口割合



資料:平成17年まで国勢調査、平成21年は埼玉県町(丁)字別人口調査(1月1日現在、年齢不詳除く)

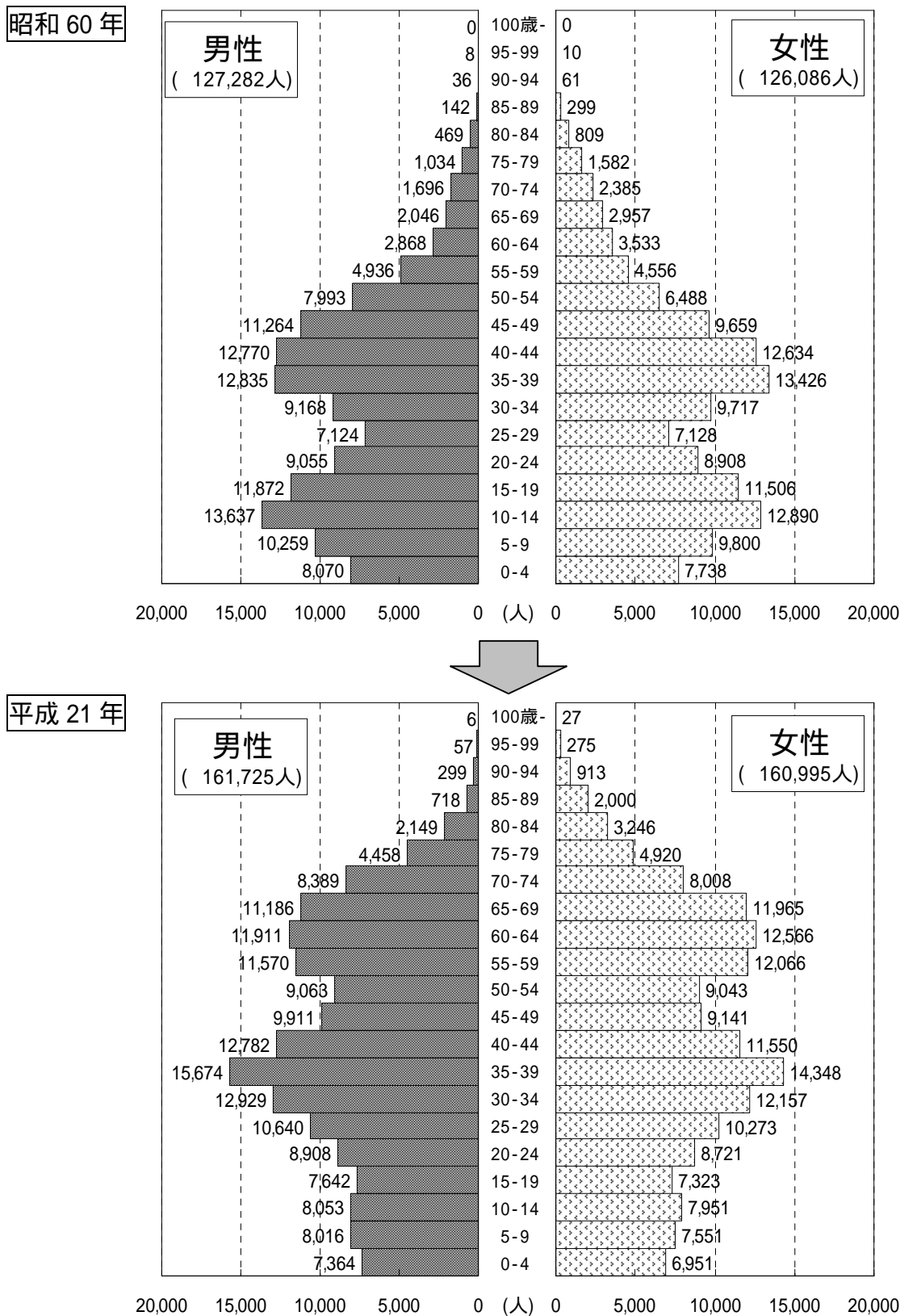
乳幼児や小中学生などの14歳以下の人口推移をみると、総人口に対する割合では減少傾向にあったものの、実数では横這い状態か若干の増加となっていることがわかります。

図表 2-3 14歳以下人口の推移



資料:埼玉県町(丁)字別人口調査(各年1月1日現在、年齢不詳除く)

図表 2-4 人口ピラミッド



資料：昭和 60 年...国勢調査、平成 21 年...埼玉県町(丁)字別人口調査(各年 1 月 1 日現在) (年齢不詳除く)

## (2) 自然動態

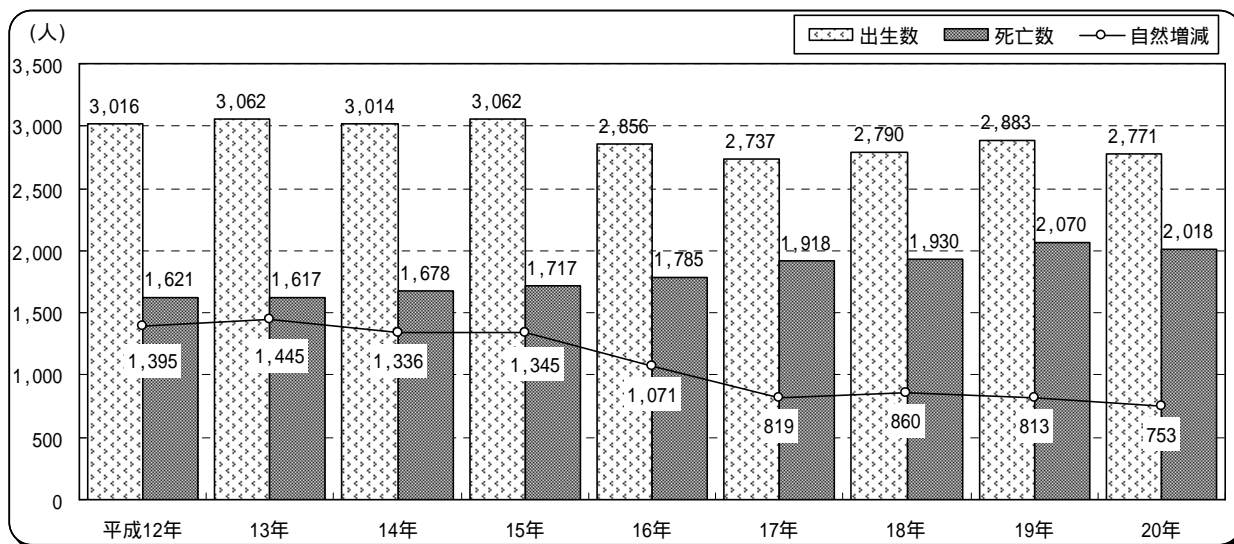
出生数と死亡数の動向では、出生数は平成18年、19年と増加に転じたものの、全体としては減少傾向にあり、他方、死亡数は増加傾向にあります。

したがって、その差である自然増減はプラスであるものの、そのプラス幅は縮小傾向となっており、このまま推移すれば、数年後には出生数と死亡数が逆転する可能性があります。

人口千人当たりの出生数(出生率)では、県平均をわずかに上回って推移していますが、県平均と同様に減少傾向となっています。また、平成20年では8.6人まで下がっています。

一方、人口千人当たりの死亡数(死亡率)では、県平均より低く推移していますが、県平均と同様に増加傾向となっています。また、平成20年では6.3人と出生率より低い値となっています。

図表 2-5 自然動態



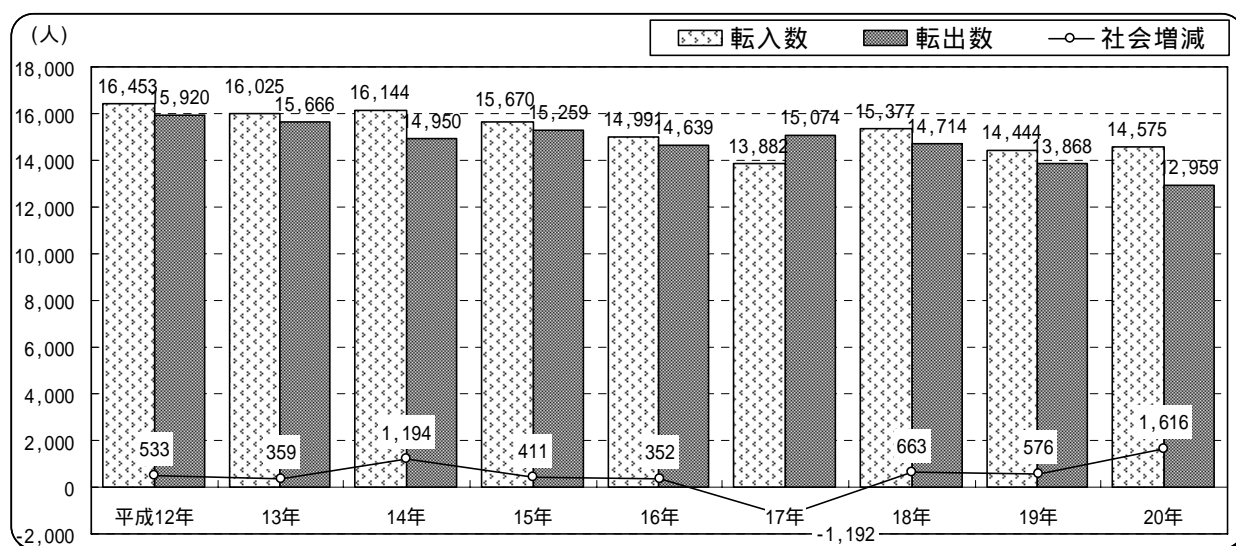
資料: 埼玉県保健統計年報

### (3) 社会動態

転入と転出の動向では、転入数が転出数をわずかに上回って推移していますが、その差である社会増減は横這い状態となっています。

また、転入数、転出数ともに減少傾向となっており、人口移動規模が小さくなっている様子が見えます。

図表 2-6 社会動態



資料: 越谷市統計年報



**【まとめ】 1 人口**

本市の人口は、自然増及び社会増により増加傾向にありますが、その増加幅も年々縮小しています。また、高齢者人口の増加に対し、年少人口は横這い状態で、相対的な少子高齢化が進行しています。特に生産年齢人口の減少で、今後の出生数の減少や社会経済への影響が懸念されます。

こうしたことから、新しい家庭を築く若年者世代の増加を目指して、就労環境や居住環境をはじめとして、子どもを産み育てやすい環境の整備が必要となります。

**【課題】**

- ・子育て家庭にやさしいまちづくりの推進
- ・子育てしやすい就労環境づくりの推進
- ・地域の子育て参加促進





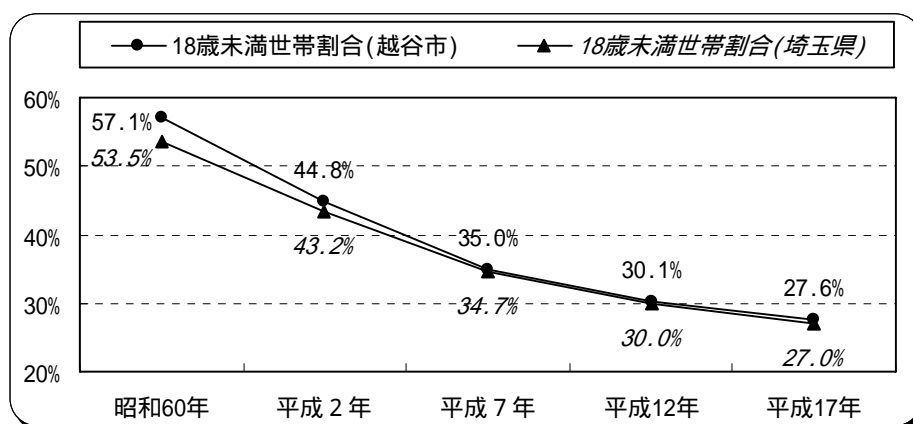
## 2 世帯

### (1) 世帯数推移

一般世帯に占める18歳未満児童がいる世帯の割合では、減少傾向を示しており、本市は県平均をわずかに上回って推移しています。また、昭和60年での57.1%が平成17年では27.6%へと半減しています。

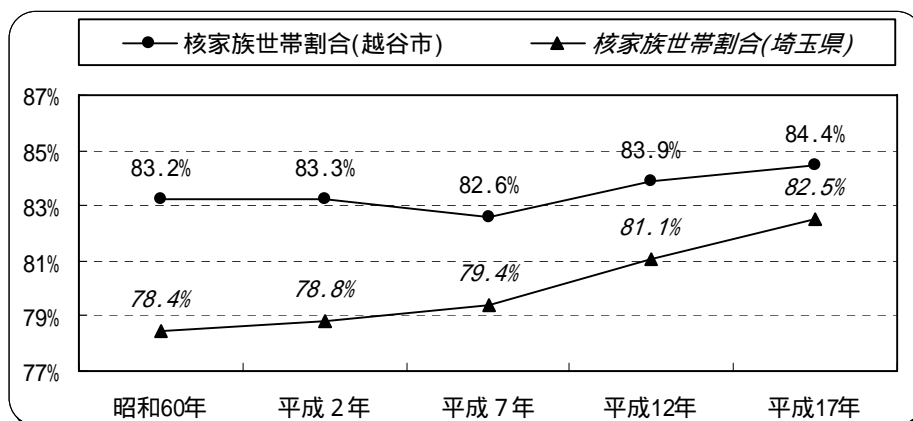
一方、18歳未満児童がいる世帯に占める核家族世帯の割合では、本市は県平均を上回って推移しており、核家族世帯の割合が比較的高いことを示しています。

図表 2-7 一般世帯に占める18歳未満児童がいる世帯割合



資料: 国勢調査

図表 2-8 18歳未満児童がいる世帯での核家族世帯割合



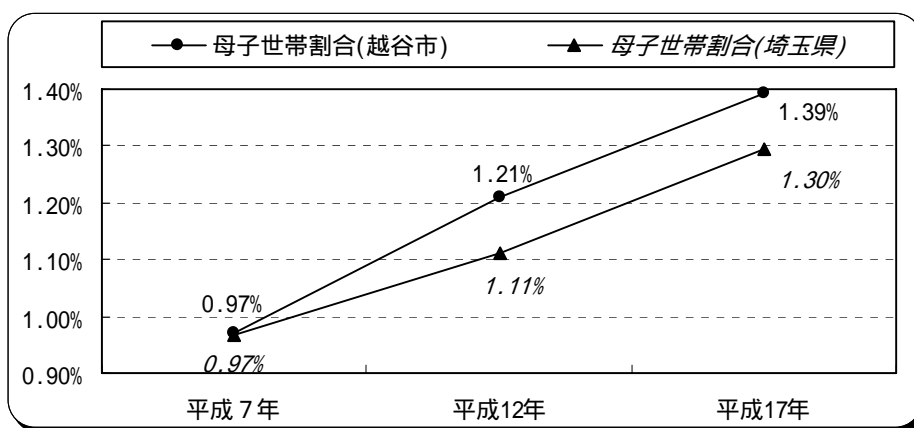
資料: 国勢調査

## (2) 母子・父子世帯数推移

一般世帯数に占めるひとり親世帯（母子世帯、父子世帯）の割合をみると、母子世帯割合では県平均とともに増加傾向となっています。

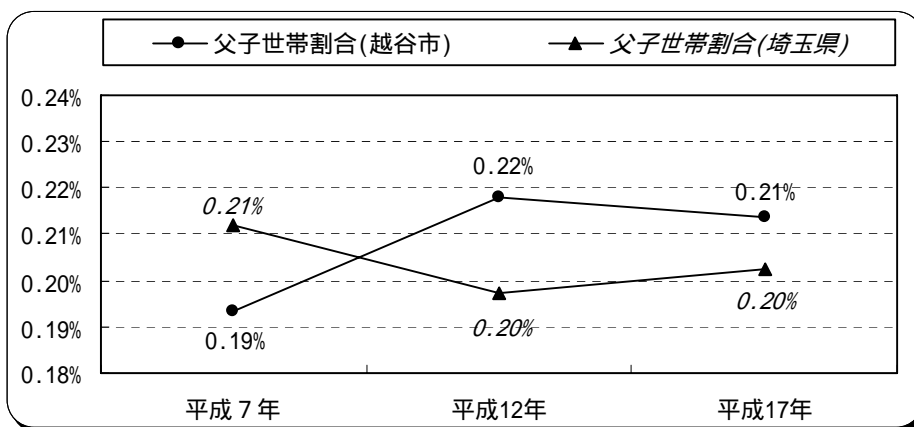
一方、父子世帯においては、母子世帯割合の6分の1程度の割合で、ほぼ横這い状態となっています。

図表 2-9 一般世帯に占める母子世帯割合



資料: 国勢調査

図表 2-10 一般世帯に占める父子世帯割合



資料: 国勢調査

**【まとめ】 2 世帯**

子育て世帯の減少と子育て家庭の核家族化が進行しています。

周囲に同じ境遇の子育て家庭が少なくなることや祖父母世代からの育児支援が得られにくくなることから、子育ての孤立感や負担感及び育児不安の増大などが懸念されます。

こうしたことから、父親の家事、育児への参加促進など家庭内での育児力向上とともに、子育て家庭同士や地域との交流、気軽に相談できる体制の構築や情報提供体制の拡充など周囲の支援体制強化が必要と考えられます。

また、母子世帯などひとり親家庭が増加しており、ひとり親家庭の子どもの健全な成長や、ひとり親家庭の生活の自立を促進するため、子育てや生活支援、就業支援、経済的支援などを進めるとともに、精神的負担の軽減や児童虐待防止の観点からも相談体制の充実が必要となります。

**【課題】**

- ・ 男性の家事、育児参加の促進
- ・ 子育て家庭の交流機会や相談機能の充実
- ・ 様々な情報提供の充実
- ・ 地域の子育て参加促進
- ・ ひとり親家庭の自立支援の推進

# 3 結婚・出産等

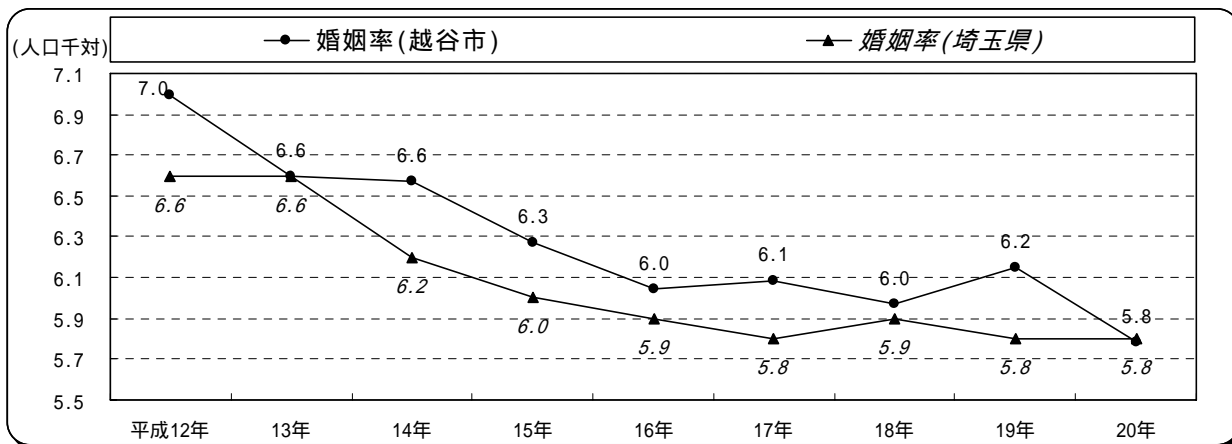
## (1) 婚姻・離婚

人口千人当たりの婚姻件数(婚姻率)は県平均とほぼ同じ推移をしており、近年ではゆるやかな減少傾向となっています。

一方、人口千人当たりの離婚件数(離婚率)でも県平均と同様の推移を示し、近年ではゆるやかな減少傾向となっています。

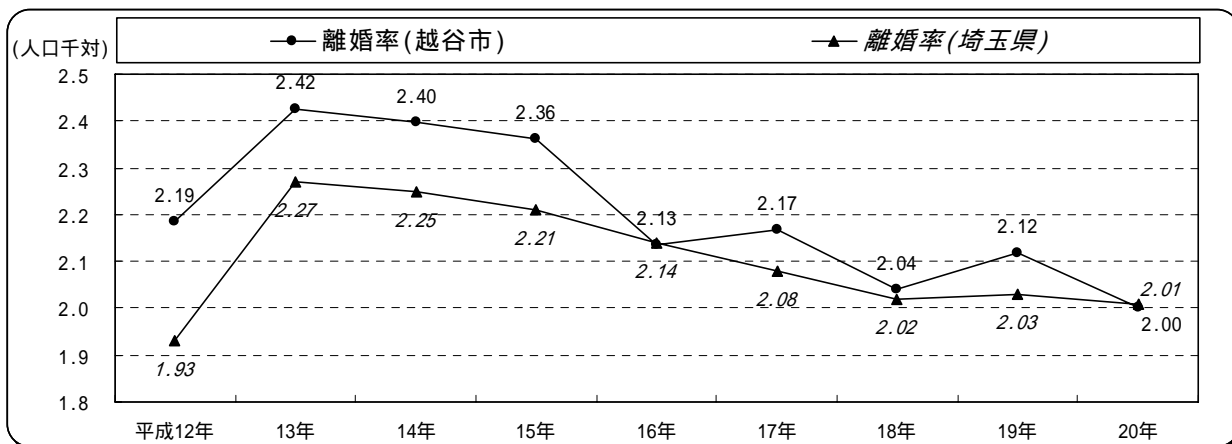
こうした背景には、高齢者人口の増加により総人口が押し上げられ、相対的に婚姻率、離婚率が減少していると考えられます。

図表 2-11 婚姻率



資料:埼玉県保健統計年報(1/1～12/31:人口は国勢調査及び埼玉県総務部統計課推計人口)

図表 2-12 離婚率

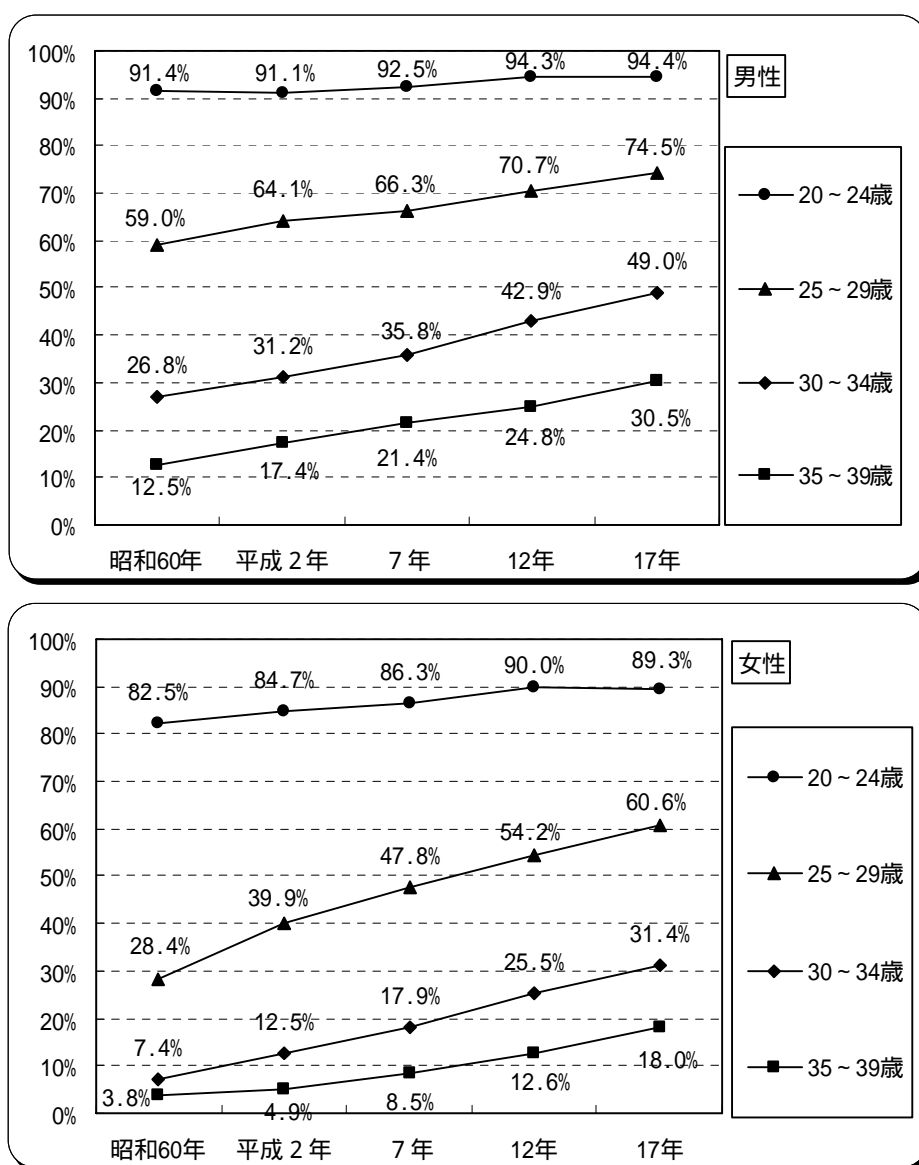


資料:埼玉県保健統計年報(1/1～12/31:人口は国勢調査及び埼玉県総務部統計課推計人口)

## (2) 未婚率

未婚率をみると、25歳以上では男女ともに上昇傾向にあることがわかります。特に25～29歳女性では昭和60年で28.4%だったものが、平成17年には65.6%と37.2ポイントも増加しており、晩婚化、非婚化が進んでいると考えられます。

図表 2-13 未婚率



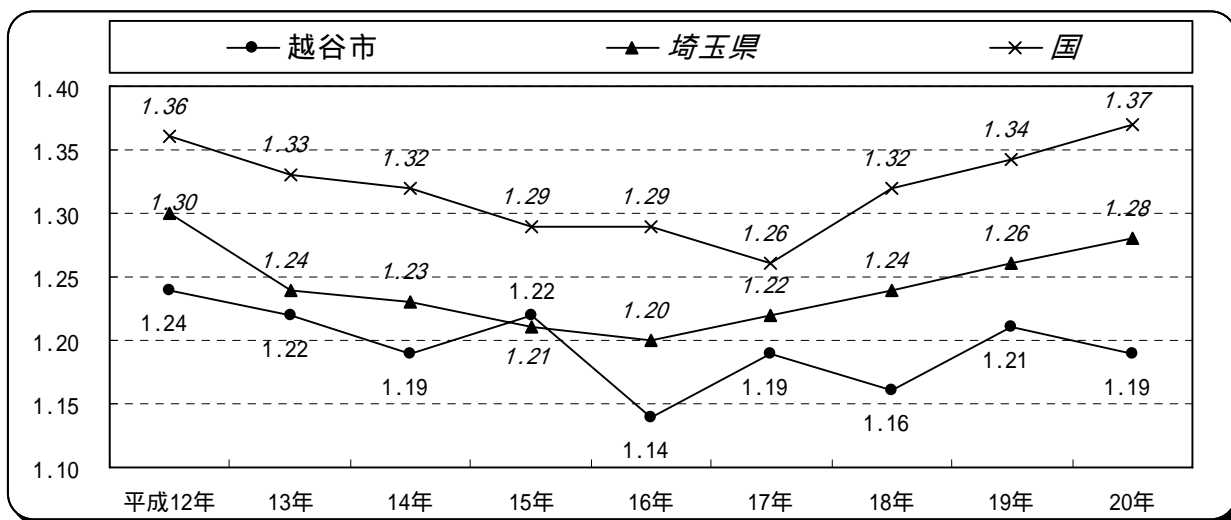
資料: 国勢調査

### (3) 合計特殊出生率

合計特殊出生率(一人の女性が生涯に産む子ども数)をみると、県、国ともに平成16、17年を境に上昇傾向に転じていることがわかります。

一方、本市でも県や国を下回ってはいるものの、平成16年に1.14まで下がった後は上昇に転じていることがわかります。

図表 2-14 合計特殊出生率



資料:埼玉県保健統計年報、平成20年は埼玉県人口動態概況  
人口を維持するのに必要な合計出生率は2.08といわれています。



【まとめ】3 結婚・出産

未婚率の推移では男女ともに晩婚化、非婚化の進行がみられており、生産年齢人口の減少と相まって、新しい家庭の誕生の鈍化が懸念されます。また、晩婚化により、1人の女性が産む子どもの数も少なくなることが考えられます。

反対に、本市の合計特殊出生率は、平成16年以降、上昇に転じていることから、20歳代から30歳代の人口増加と新しい家庭の誕生が進めば、子ども数自体の増加も期待できます。

こうしたことから、子どもを生き育てやすい環境づくりを推進し、若者世代が定住し、新しい家庭を築きやすいまちづくりを目指すことも重要となります。

【課題】

- ・若者世代の定住化対策の推進
- ・新しい家庭を築く支援の強化



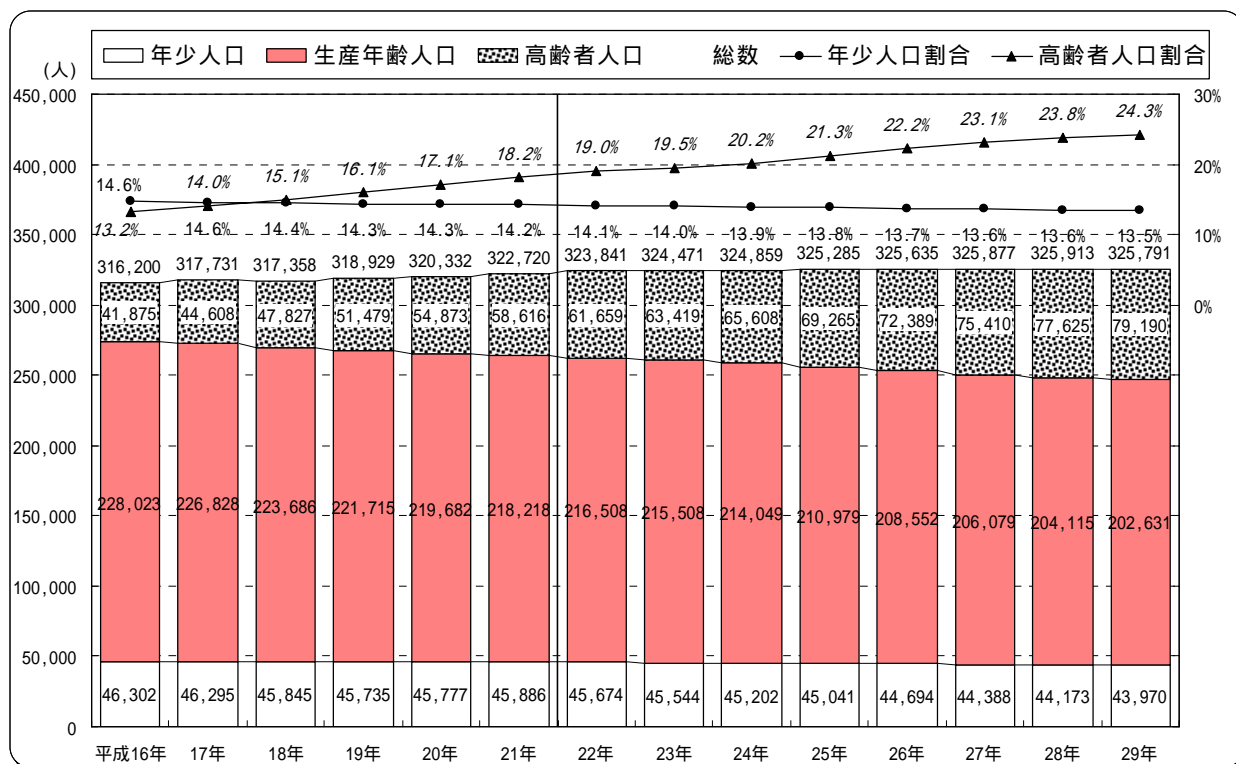
# 4 人口推計

## (1) 総人口の推計

平成16年から平成21年までの1月1日現在での埼玉県町(丁)字別人口調査人口を基にしたコーホート変化率法による人口推計(市総合振興計画で算出)によると、総人口は平成28年まで増加傾向を示し、その後減少傾向に転じると予測されています。

また、年少人口(15歳未満)と生産年齢人口(15歳以上65歳未満)が減少の一途をたどる一方で、高齢者人口(65歳以上)は増加傾向となっており、平成29年時点で総人口に対する割合では、年少人口割合が13.5%、高齢者人口割合がその約2倍にあたる24.3%程度になるものと予測されます。

図表 2-15 推計人口推移



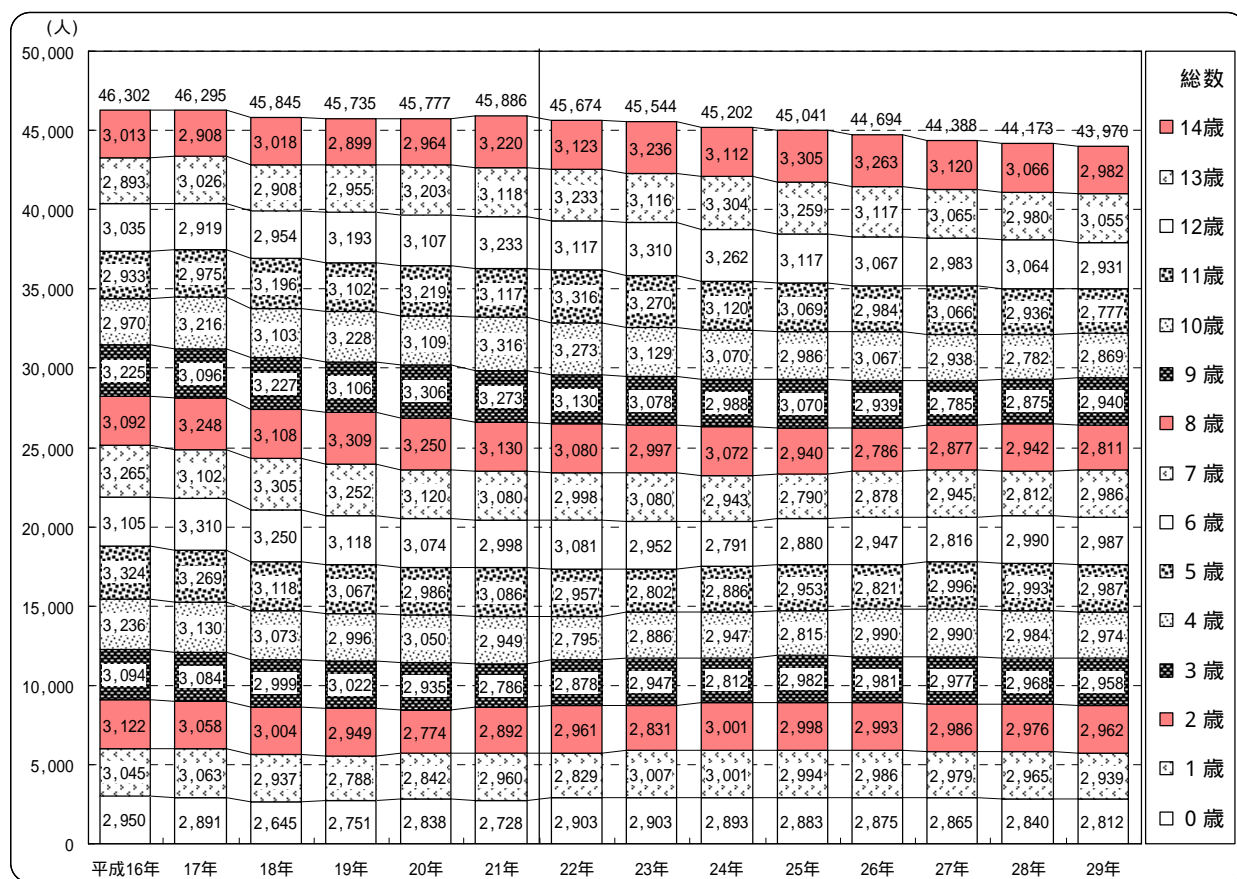
資料：平成21年までは埼玉県町(丁)字別人口調査(各年1月1日現在)  
平成22年以降は平成16年から平成21年までの実績に基づいたコーホート変化率法による推計人口



## (2) 児童人口の推計

推計人口のうち、15歳未満の年少人口を各歳別にみると、母親となる年齢層の人口が減少するという見込みを反映して、0歳児人口も減少傾向を示していることがわかります。

図表 2-16 推計人口推移(15歳未満)



資料：平成 21 年までは埼玉県町(丁)字別人口調査(各年 1 月 1 日現在)

平成 22 年以降は平成 16 年から平成 21 年までの実績に基づいたコーホート変化率法による推計人口

【まとめ】4 人口推計

平成 29 年までの人口推計では、総人口は平成 28 年まで増加し、その後減少に転じると予測されます。また、年少人口では、平成 21 年までの実績ではほぼ横這い状態にあったものの、平成 22 年以降の推計ではわずかずつですが減少傾向が続き、生産年齢人口も減少が継続すると予測されます。

こうしたことから、年少人口の減少に歯止めをかけるための様々な対策を推進する必要があります。

加えて、子ども数の減少によって、近隣の遊び仲間が少なくなり、子どもの社会性が育ちにくくなるといった影響も懸念されます。

【課題】

- ・ 各種少子化対策の推進
- ・ 子どもの社会性の習得促進



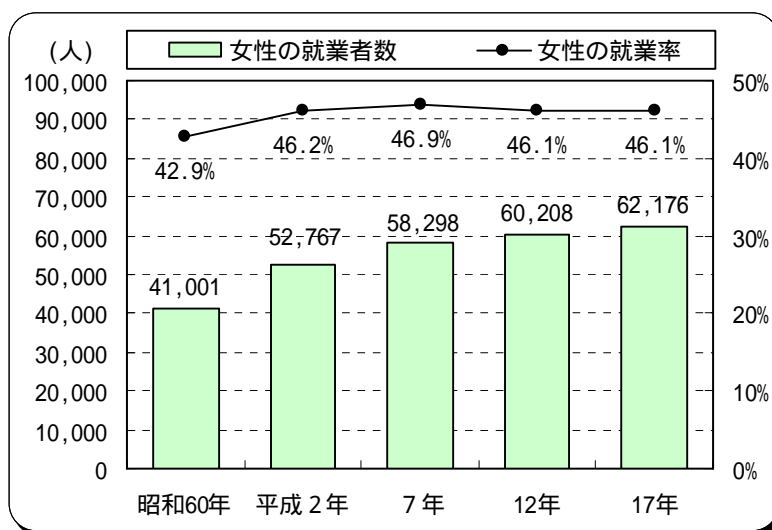
## 5 就労状況

### (1) 就業者数

15歳以上の女性人口に対する女性就業者の割合(女性就業率)は、平成17年では46.1%となっており、女性(15歳以上)の半数近くが就業していることとなります。

また、女性の就業者数及び就業率は、平成7年で46.9%まで上昇した後、横這い状態となっています。

図表 2-17 女性の就業者数

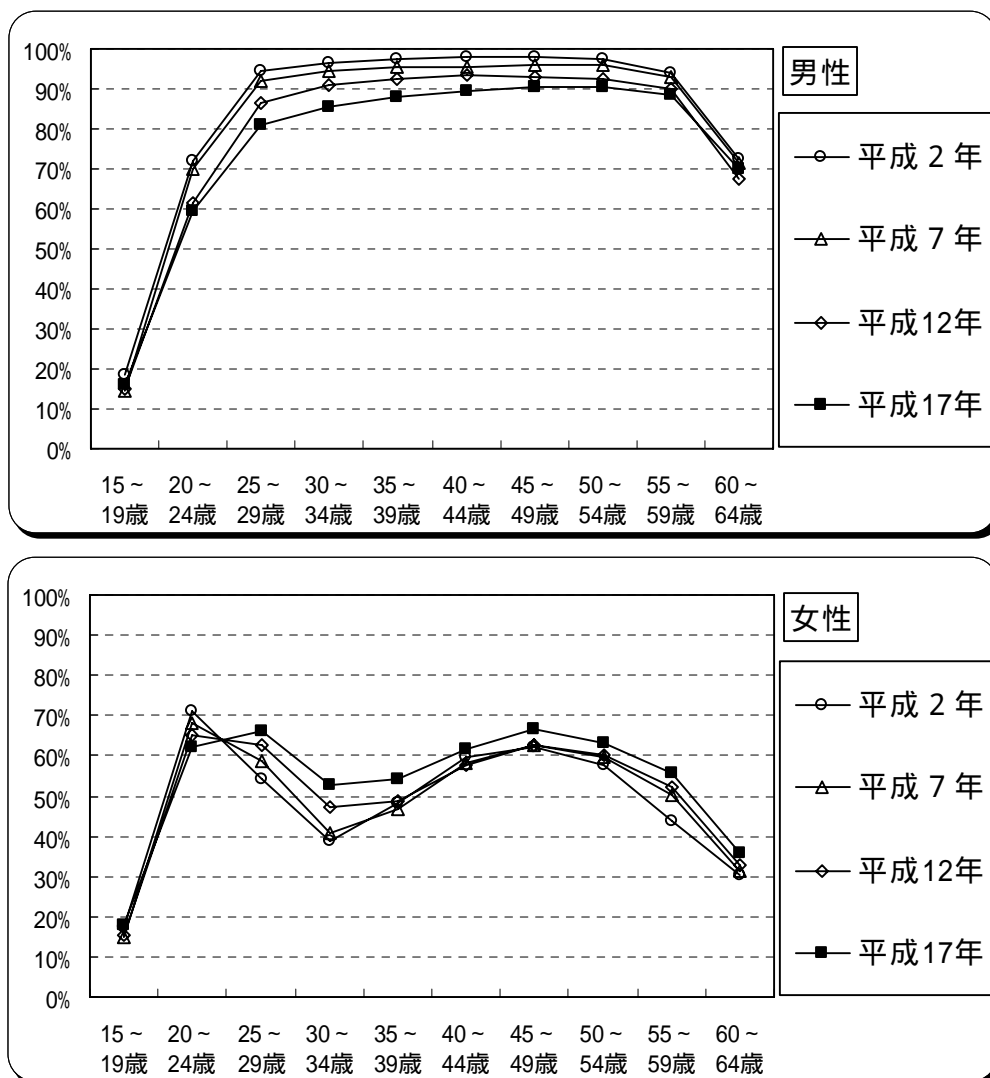


資料: 国勢調査

男性の就業率は年ごとに低下しており、働いている人の割合が下がっていることを示しています。

一方、女性の就業率を年齢に沿って見た場合、「M字型曲線」を示しており、30歳前後で結婚や出産のため離職する傾向にあるものの、平成17年ではその落ち込み方が浅くなっており、継続して就労している割合が高いことを表しています。

図表 2-18 年齢別就業率



資料: 国勢調査

## (2) 産業構造

産業別就業者割合は、全体、女性ともに「サービス業」が最も高く3割前後を占め、さらに増加傾向となっています。

図表 2-19 産業構造

全 体		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
第一次産業	農業	1.7%	1.3%	1.0%	0.8%
	林業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	漁業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
第二次産業	鉱業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設業	9.0%	9.6%	9.2%	8.7%
	製造業	24.2%	21.1%	18.2%	15.6%
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	0.4%	0.5%	0.5%	0.3%
	運輸・通信業	6.9%	7.5%	7.9%	11.2%
	卸売・小売業，飲食店	26.6%	26.5%	26.3%	25.7%
	金融・保険業	5.2%	4.9%	4.1%	3.4%
	不動産業	1.6%	1.6%	1.8%	1.9%
	サービス業	20.7%	23.0%	25.5%	26.0%
	公務(他に分類されないもの)	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%
分類不能の産業		1.0%	1.3%	2.7%	3.6%
合 計		100%	100%	100%	100%
女 性		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
第一次産業	農業	2.2%	1.6%	1.2%	0.9%
	林業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	漁業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
第二次産業	鉱業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設業	3.5%	3.9%	3.3%	3.0%
	製造業	22.8%	18.8%	15.8%	12.8%
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%
	運輸・通信業	2.8%	3.4%	3.9%	6.2%
	卸売・小売業，飲食店	31.2%	32.3%	32.3%	31.5%
	金融・保険業	6.8%	6.3%	5.2%	4.3%
	不動産業	1.7%	1.5%	1.7%	1.7%
	サービス業	26.0%	28.4%	31.3%	34.1%
	公務(他に分類されないもの)	1.7%	1.9%	1.8%	1.7%
分類不能の産業		1.2%	1.7%	3.2%	3.8%
合 計		100%	100%	100%	100%

資料:国勢調査 四捨五入の都合上、合計が100%ちょうどとならない場合があります。

**【まとめ】 5 就労状況**

女性の就業率は平成2年以降46%台で推移し、横這い状態となっています。

しかし、女性年齢別の就業率をみると、30歳前後で結婚や出産のため離職する様子が表れた、いわゆる「M字型曲線」となっているものの、平成17年ではその落ち込み方が浅くなるなど、継続して就労している割合が高くなっています。

一方、産業別の就労状況をみると、男女ともにサービス業の割合が増加しており、就業時間や休日の多様化が懸念されます。

こうしたことから、結婚・出産退職後の再雇用制度や育児休業制度の整備、保育サービスの拡大と多様化、地域による子育て支援など、結婚や出産しても継続して働くことのできる環境づくりが必要です。

**【課題】**

- ・子育てと仕事が両立できるよう企業への働きかけ
- ・男性の家事、育児参加の促進
- ・働き方の見直しによる仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進
- ・多様な保育サービスの充実
- ・地域の子育て参加促進

## 6 主な子育て支援サービス事業の状況

### (1) 子育てサロン(つどいの広場)

子育てサロンでは、就学前の子どもを育てている方を対象に、子育て中の親同士の交流の場を設けるとともに、子育てに関する悩みや相談をお受けし、また、子育てサークルによる各種講座等もあります。

図表 2-20 子育てサロン設置状況

名称	場所	開所日	利用時間
ヴァリエ子育てサロン	新越谷駅ビル ヴァリエ1F	月曜日を除く毎日	9:30～17:00
住まいの情報館子育てサロン	住まいの情報館	月・水・金	10:00～15:00
つどいの広場はぐはぐ子育てサロン	生活クラブ越谷生活館	火・木・金	10:00～15:00
児童館コスモス子育てサロン	児童館コスモス	水・木・金	9:00～12:00
児童館ヒマワリ子育てサロン	児童館ヒマワリ	火・木・金	9:00～12:00
花田学童保育室子育てサロン(出張)	花田小学校内	火曜日	午前中
ほっと越谷子育てサロン(出張)	男女共同参画センター内	木曜日	午前中

資料：児童福祉課(平成21年4月1日現在)

図表 2-21 相談・講座開催回数

(単位：回)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
子育て相談	523	531	523	832	708
子育て講座	77	79	75	85	86
親子講座	24	24	24	11	10
合計	624	634	622	928	804

平成20年度よりつどいの広場の開催のため子育て相談は減少した。

資料：児童福祉課

## (2)ファミリー・サポート・センター

子育ての援助を行いたい方(提供会員)と子育ての援助を受けたい方(利用会員)を会員として組織し、地域における子育ての相互援助活動を目的としています。

また、センターはサービス利用にあたって、利用会員と提供会員の連絡調整や育児に関する知識・技術の習得のための研修会等を実施しています。利用するには、会員登録が必要で、利用される場合には利用料金を負担していただきます。援助内容は、保育所への送迎や一時保育、小学校帰宅後の預かり等です。

平成21年1月5日からは、越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町の5市1町での相互利用を開始しました。

対 象：小学校6年生までの児童  
 所 在 地：越谷市中央市民会館内(事務局)  
 活動時間：6時～22時

図表2-22 ファミリー・サポート・センター会員状況 (単位：人)

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用会員	475	528	583	590	684
提供会員	197	209	212	211	228
利用・提供会員	33	33	35	38	38
合 計	705	770	830	839	950

資料：児童福祉課



図表 2-23 ファミリー・サポート・センター内容別活動状況 (単位：件)

内 容	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	104	430	220	632
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,724	1,501	1,075	1,174
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	8	4	1	12
学童の放課後の預かり	93	56	53	42
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	419	520	660	598
子どもの病気時の援助	6	3	0	0
子どもの習い事等の場合の援助	144	271	420	300
保育所・学校等休み時の援助	101	68	32	56
保育所等施設入所前の援助	4	2	62	10
保護者等の短時間・臨時就労の場合の援助	167	29	23	4
保護者等の求職活動中の援助	4	3	0	0
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事等の援助	40	21	1	10
保護者等の外出の場合の援助	39	14	16	69
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	32	32	2	33
その他	0	0	40	227
合 計	2,885	2,954	2,605	3,167

資料：児童福祉課



### (3) 家庭児童相談室

学校や幼稚園に行けない、夜尿や爪かみ、チックが治らない、非行の心配があるなど、家庭における児童教育について、専門の相談員が相談に応じ、助言を行います。

対 象：18歳未満の子ども及びその保護者

相談時間：毎週月曜日～金曜日(祝祭日除く) 9時～16時

所在地：中央市民会館4階相談室

図表 2-24 家庭児童相談室相談状況

(単位：件)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
性格・生活・習慣等		428	474	330	331	371
知能・言語		25	22	22	19	30
学校生活等	人間関係	195	270	165	173	154
	登校拒否	174	166	112	81	55
	その他	236	288	212	246	206
非 行		10	9	13	18	16
家族関係	虐待	378	11	97	63	23
	その他		477	445	429	362
環境福祉		1	3	0	7	11
心身障がい		72	72	37	65	69
そ の 他		228	341	335	292	190
合 計		1,747	2,133	1,768	1,724	1,487

資料：児童福祉課

#### (4) 児童館

児童に健全な遊びや各種事業を通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としています。また、遊びを通して科学や生物・環境に対する興味・関心を高め、創造性豊かな児童を育みます。

市内には、児童館コスモスと児童館ヒマワリの2館があります。

##### 児童館コスモス

「天文と物理」をテーマに、ドームのプラネタリウムや宇宙展示コーナー、科学体験コーナーがあり、望遠鏡を備えた天体観測室では、毎月天体観測会を開催しています。また、乳幼児をお持ちの方を対象とした講座等の開催や、遊戯室・幼児室を設置しているほか、乳幼児の生活習慣や発育、健全な遊びについて相談に応じる子ども家庭相談室を設置しています。

図表 2-25 児童館コスモス入館者数

(単位：人)

年 度	開館日数	入館者数					
		合計	幼児	小学生	中高生	大人	団体等 (再掲)
平成16年度	298	138,958	50,858	37,102	4,864	46,134	6,878
平成17年度	305	135,615	45,476	40,407	3,677	46,055	7,567
平成18年度	305	130,102	44,177	36,563	4,413	44,949	7,263
平成19年度	305	126,536	44,289	33,273	4,037	44,937	7,806
平成20年度	306	119,067	43,438	30,667	3,086	41,876	7,707

資料：児童福祉課

図表 2-26 児童館コスモス子ども家庭相談室利用状況

(単位：件)

相談内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生他	合計
生活習慣・発育・発達	184	0	0	0	184
排泄	15	0	0	0	15
情緒的な問題、社会性の問題	70	14	1	0	85
ことば	16	0	0	0	16
人間関係	0	3	0	7	10
学習	4	0	0	0	4
就園・就学・進路	25	0	2	0	27
障がい関係	12	0	0	0	12
子育ての不安等	0	0	0	4	4
その他	5	0	0	7	12
合 計	331	17	3	18	369

資料：児童福祉課(平成20年度)

### 児童館ヒマワリ

「生物と環境」をテーマに、ミクロの世界を見ることができる電子顕微鏡や水耕栽培コーナー、生物・環境科学展示コーナー、淡水魚が観察できるミニ水族館、200インチの大型映像が楽しめる視聴覚ホールがあります。また、乳幼児をお持ちの方を対象とした講座等の開催や、遊戯室・幼児室を設置しているほか、乳幼児の生活習慣や発育、健全な遊びについて相談に応じる子ども家庭相談室を設置しています。

図表 2-27 児童館ヒマワリ入館者数

(単位：人)

年 度	開館日数	入館者数					
		合計	幼児	小学生	中高生	大人	団体等 (再掲)
平成16年度	298	139,936	47,154	45,637	4,686	42,459	4,361
平成17年度	305	131,768	44,089	44,239	3,690	39,750	3,863
平成18年度	305	121,307	41,019	38,435	3,045	38,808	3,756
平成19年度	305	104,073	35,361	32,038	3,682	32,992	4,311
平成20年度	306	88,931	29,902	27,091	3,874	28,064	3,708

資料：児童福祉課

図表 2-28 児童館ヒマワリ子ども家庭相談室利用状況

(単位：件)

相談内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生他	合計
生活習慣・発育・発達	165	3	0	0	168
排泄	16	0	0	0	16
情緒的な問題、社会性の問題	92	2	0	0	94
ことば	22	0	0	0	22
人間関係	30	15	0	7	52
学習	2	2	3	0	7
就園・就学・進路	14	0	0	0	14
障がい関係	3	0	0	0	3
子育ての不安等	0	1	0	7	8
その他	10	0	0	7	17
合 計	354	23	3	21	401

資料：児童福祉課(平成20年度)

### (5) 保育所等

#### 保育所(園)

保護者が仕事や病気のために保育できない場合、保護者に代わって乳幼児を保育する施設です。市内には公立保育所 18 園、私立保育園 12 園があり、全園で延長保育、24 園で 0 歳児保育、公立 18 園で障がい児保育を実施しています。

また、増林保育所、南越谷保育園、おおたけ保育園、越谷レイクタウンさくら保育園、松沢保育園にはそれぞれ地域子育て支援センターが併設されています。

保育時間：平 日 8:30～16:30 土曜日 8:30～12:00

時間外保育：平 日 7:00～8:30 16:30～19:00

土曜日 7:00～8:30 12:00～19:00

土曜日の時間外保育時間は保育所(園)により異なります。

図表 2-29 保育所(園)数と保育児童数

(単位：施設、人)

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
公立	施設数	18	18	18	18	18	18
	合計定員	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980
	保育児童数	1,833	1,821	1,763	1,798	1,822	1,844
私立	施設数	7	8	9	10	10	12
	合計定員	620	740	780	800	800	1,010
	保育児童数	684	761	829	863	870	1,050
合計	施設数	25	26	27	28	28	30
	合計定員	2,600	2,720	2,760	2,780	2,780	2,990
	保育児童数	2,517	2,582	2,592	2,661	2,692	2,894

資料：保育課(各年度 4 月 1 日現在)

### 家庭保育室

保護者が仕事や病気等で保育できないとき、市が指定した家庭保育室で保育を行っています。市内には21箇所あり、市では、保護者の所得税額等に応じて保育料の一部を助成しています。

対 象：生後6週間～3歳未満

保育時間：8:30～16:30(時間外保育もあり)

図表 2-30 家庭保育室の利用状況

(単位：施設、人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
施設数	24	24	21	23	22	21
合計定員	189	195	183	202	191	204
保育児童数	97	89	76	109	112	151

資料：保育課(各年度4月1日現在)

### 病後児保育室

病気回復期の児童を、仕事を休めない等の保護者に代わり、看護師と保育士が児童の体調に合わせて預かります。

対 象：・市内在住で生後3か月～小学校3年生の児童

・病気の回復期で安静の必要があるなど集団保育が困難な状態にある児童

・保護者が仕事、傷病、事故、出産、冠婚葬祭などの社会的にやむを得ない事情により、家庭で児童の保育が行えない児童

保育時間：平日8:00～18:00(連続7日間まで利用可能)

図表 2-31 病後児保育室の利用状況

(単位：人、延人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
登録	59	46	81
実績	4	31	37

資料：保育課

## (6) 保育ステーション

都内等への通勤者が多い状況を踏まえ、利便性の高い駅前に「保育ステーション」を設置し、仕事と育児の両立を支援するとともに、多様な保育ニーズに対応するため、送迎保育をはじめ、一時保育、育児相談など子育て支援事業を幅広く行っています。

市内には、南越谷保育ステーションと北越谷保育ステーションの2箇所を設置しています。

図表 2-32 保育ステーション利用状況

(単位：延人)

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
南越谷	送迎保育	1,299	1,814	1,606	2,711	3,023
	一時保育	4,044	4,011	3,576	3,567	3,836
	育児相談	2,726	2,721	1,990	2,021	1,568
北越谷	送迎保育	1,304	1,737	3,847	2,935	1,994
	一時保育	3,742	3,171	3,199	3,394	3,290
	育児相談	3,158	2,158	2,128	1,966	1,701
合計	送迎保育	2,603	3,551	5,453	5,646	5,017
	一時保育	7,786	7,182	6,775	6,961	7,126
	育児相談	5,884	4,879	4,118	3,987	3,269

資料：保育課



## (7) 学童保育室

放課後、保護者の就労等により放課後の保育に欠ける小学校1年生から3年生の児童に対し、保護者に代わって保育することにより児童の健全な育成を図るため放課後から19時までの間、学童保育を行っています。市内には公立29箇所、民間4箇所の学童保育室があります。

図表 2-33 学童保育室利用状況

(単位：施設、人)

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
公立	施設数	22	25	25	28	29	29
	利用児童数	1,114	1,303	1,465	1,616	1,616	1,648
私立	利用施設数	10	8	6	4	4	4
	利用児童数	218	148	130	121	120	130
合計	施設数	32	33	31	32	33	33
	利用児童数	1,332	1,451	1,595	1,737	1,736	1,778

資料：保育課(各年度4月1日現在)



(8) 地域子育て支援センター

地域で子育てを支える環境づくりを推進するため、増林保育所、南越谷保育園、おおたけ保育園、越谷レイクタウンさくら保育園、松沢保育園(平成21年度より)にそれぞれ地域子育て支援センターを設置しています。子育て支援センターでは、子育て講座や子育て広場等を開催し、参加親子同士の交流を図るとともに、子育て相談や子育て情報の提供、一時保育も実施しています。

図表 2-34 地域子育て支援センター利用状況

(単位：延人、件、延人)

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
おひさまの子 (増林保育園内)	子育て講座	446	426	505	632	488
	子育て相談	230	250	237	162	66
	一時保育	948	1,319	1,549	1,940	1,617
すくすく (南越谷保育園内)	子育て講座	-	384	1,491	1,843	1,592
	子育て相談	-	556	1,315	653	524
	一時保育	-	682	827	775	656
たけのこ (おおたけ保育園内)	子育て講座	-	-	498	673	1,043
	子育て相談	-	39	16	37	34
	一時保育	-	-	304	917	1,175
げんき (越谷レイクタウン さくら保育園内)	子育て講座	-	-	-	-	192
	子育て相談	-	-	-	-	12
	一時保育	-	-	-	-	403
きらきら (松沢保育園内)	子育て講座					
	子育て相談	平成21年度より				
	一時保育					
合 計	子育て講座	446	810	2,494	3,148	3,315
	子育て相談	230	845	1,568	852	636
	一時保育	948	2,001	2,680	3,632	3,851

資料：保育課

**【まとめ】6 主な子育て支援サービス事業の状況**

女性の社会進出等により、公・私立の保育所(園)や学童保育の利用児童数は増加しています。

また、延長保育や休日保育、病後児保育、一時保育など、保育ニーズも多様化しており、ファミリー・サポート・センターや保育ステーションなども含めてさらなる充実が求められています。

さらに、核家族化などにより子育て家庭の孤立化が懸念されるなかで、子育てサロンや地域子育て支援センター、家庭児童相談室などの交流、相談の場は欠かすことのできない重要な子育て支援の場となっており、今後もより一層の拡充が必要です。

一方、遊びや各種事業を通して児童の健全育成を図る中核的な施設である児童館の利用者数は減少傾向にあるものの、地域の子育て支援拠点施設として、つどいの広場や相談事業の充実とともに、交流、学習、相談の場として継続的な実施が望まれます。

**【課題】**

- ・ 保育所(園)、学童保育室の拡充
- ・ 多様な保育ニーズに対応する保育サービスの充実
- ・ 子育て家庭同士の交流の機会や相談、情報提供体制の充実

